

**様式 1-A**

**日本周産期メンタルヘルス学会：自己申告によるCOI 報告書**

著者名（全員）： \_\_\_\_\_

論文題名： \_\_\_\_\_

(**著者全員**について、投稿時から遡って過去1年間以内での論文内容に関する企業・組織または団体とのCOI 状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載 (例) 日本太郎：大西洋製薬、富士山高志：ABC 製薬
① 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上。あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から所属部署に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦ 奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有・無	
⑨ 旅費・贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本COI 申告書は論文掲載後2年間保管されます)

(申告日)                    年    月    日

申告者（署名） \_\_\_\_\_ (印)

※投稿論文が採択され雑誌に掲載された際には、申告されたCOI 状態について、論文末尾、謝辞または引用文献の前に掲載いたします。開示すべきCOI 状態がない場合にも、その旨を同部分に掲載いたします。

記載例：本論文に関連し、開示すべきCOI 状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。